

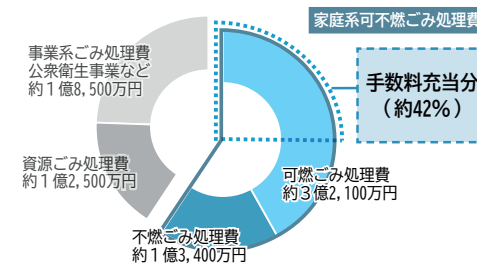
令和4年度のごみ処理の状況を説明します 家庭ごみ手数料とごみ処理の現状

北上市では、家庭から出る燃えや（み）と燃えないごみ（家庭系可燃ごみ）の処理費を手数料化（家庭ごみ指定袋を販売し）、ごみの処理費を市民の皆さんにも負担していただいています。

このごみ処理費がなぜ手数料化されたのか、手数料と処理費の関係やごみ処理の現状についてご説明します。

■問い合わせ：環境政策課 ☎7218284

令和4年度ごみ処理費の概要



ごみ処理費の手数料化の経緯
当市は平成3年の合併以降、人口の増加と共に家庭ごみの排出量が増え続けていました。

家庭ごみは、北上市内に住む人が排出します。住民登録をせず一時的に居住する人は市税を納めることはありませんが、その分のごみ処理費にも市の税金が使われてきました。

ごみ処理費は増え、このまま排出量が増えたと焼却施設の能力を超え、埋め立て施設が埋まってしまふことが懸念されました。また、北上市の財政状況は厳しく、市民の皆さんにごみの削減に取り組んでいただき、処理費の削減と施設の延命化を行うことが急務となりました。

そこで、排出量に応じた処理費の負担と、ごみの分別や排出量削減の動機付けとして、20年12月から家庭ごみ処理費の「手数料化」を開始。市民の手数料負担分を、家庭系可燃ごみの処理費の2分の1とし、指定袋を皆さんに購入（販売額＝手数料額）していただいています。

手数料化することで、ごみを排出する量に応じた負担となるほか、一時的な居住をする人にも負担いただくことができます。

ごみ処理事業の内訳と処理費
市のごみ処理事業には、家庭系可燃ごみのほかに、資源ごみ、事業系ごみの処理や、小動物の死骸回収といった公共衛生事業などがあります。これら全体の処理費は、令和4年度は約7億6000万円、このうち家庭系可燃ごみの処理費は約4億5000万円、全体費用の約6割を占めています。

手数料収入は家庭系可燃ごみ処理費の半分に満たない
4年度のごみ処理費の収入は約1億9000万円、これは、家庭系可燃ごみ処理費の約42%にあたり、2分の1に満たない状況です（図2参照）。残りの処理費には、市の税金が使われています。

目標まで年間あと2.9kgの削減

手数料化前の19年度に比べ、4年度の市民1人当たりのごみ排出量は約15%削減されました。生活系ごみ（可燃ごみと資源ごみ）排出量は県内14市中、最少です。しかしながら、市のごみ処理基本計画の目標値には達していません。

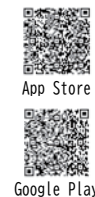
市が4年度に実施した食品ロス調査では、全く手を付けず廃棄された食品が1人当たり年間約8kg出ていることが分

	H19	R4	R12目標
1日(g)	637	538	530
年間(kg)	232.5	196.4	193.5
削減量(kg)	—	36.1	2.9

かりました。食べ切れる量で購入するなど、ちょっとした行動がごみの削減につながります。

当市の資源ごみのリサイクル率は上位
当市では、資源ごみの分別を細かく設定しており、4年度のリサイクル率は県内14市中、2位となっています。

「ごみの分別は冊子の「ごみ百科」のほか、アプリ「ごみあん」でも確認できますのでご利用ください。



環境負荷を減らし持続可能なまちへ

家庭ごみ処理費の手数料化を実施しているのは、県内では当市のみですが、全国では66%の自治体が実施しています。政府は2050年カーボンニュートラル宣言をしており、全国的にもさらなるごみの削減、リサイクルの推進が求められます。

手数料化により、当市のごみ排出量は大きく削減されました。今後も手数料化へのご理解とごみの減量、分別の徹底にご協力をお願いします。

※カーボンニュートラル
CO2などの温室効果ガスの排出量を削減させ、森林管理などによる吸収量を増加させる取り組みで、排出量を実質ゼロにすることです。政府は2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指しています。

みんなで安全・安心な地域社会を作りましょう 交通安全の集い2023

同会は、冬の交通事故防止県民運動（12月15日～24日）の実施に合わせ、地域全体の交通安全の意識を高めることなどを目的に開催します。ご参加も参加できます。ぜひご来場ください。

■開催：12月18日(月)14時～16時

■会場：さくらホール中ホール

■内容：交通安全功労者・団体・ポスターコンクール入選者表彰、北上市警察署長による交通事故概況説明、県警音楽隊による公演・寸劇

■問い合わせ：北上地区交通安全対策連絡協議会（事務局）地域づくり課 ☎7218301



7218301

北上市の歴史を知ろう 新編北上市史を販売しています

平成27年から始まった新編北上市史の編さん事業では、これまで3冊の市史を刊行し、販売しています。

■販売場所：総務課、市史編さん室、博物館本館、中央図書館、生涯学習センター

※中央図書館は12月18日(月)まで休館しています。（本号23ページ参照）

■問い合わせ：総務課市史編さん室 ☎7218309



巻	内容	価格(税込)
資料編「考古」	市内で発見された旧石器時代から近代までの主な遺跡を時代ごとに解説	6,000円
資料編「古代・中世」	6世紀後半から17世紀前半までの北上に関する歴史資料を掲載	6,000円
特別編「自然」	北上地方の地質や気候、動植物の解説	5,000円



市の動き

北上駅東口が北上の新しい顔に

10月28日

JR北上駅東口の約1万㎡の市有地活用事業、さくらPORT・TOWNプロジェクトが完了し、敷地内でオープニングセレモニーが行われました。

令和2年に着手した立体駐車場「さくらPORT・パーキング」の整備を皮切りに、賃貸マンション、賃貸オフィス、ホテルが完成。事業を手掛けた、さくらPORT・TOWN(株)の西尾高登代表取締役は「北上市の活力を支える新しい都市機能運営し、さらなる活性化の一端を担いたい」とあいさつしました。市は、駅東口からホテルまで屋根付きの回廊を設置したほか、広場を整備して「さくらPORT・スクエア」と命名。公民連携による新たな都市拠点が誕生しました。

年に一度は新幹線を利用する高橋勇一さん(69歳、和賀町煤孫)は「立派になって活気ある街になった」と感じていました。



友好都市・石垣市へ職員派遣

10月23日

沖縄県石垣市との職員人事交流で、企画部政策企画課の高橋みどり主任を、10月23日から11月22日まで同市へ派遣しています。期間中、石垣島まつりや人口5万人達成記念事業、業務改善、働き方改革など幅広い分野に従事します。

